

## 北八ヶ岳 東天狗岳 山行報告

【山域】 八ヶ岳連峰

【コース】 渋の湯～黒百合平～東天狗岳往復

【日時】 H29年3月5日（日） 日帰り

【天候】 晴れ 中山峠より上部は強風

【参加者】 CL 鈴木憲二 鈴木愛子（記録）

【コースタイム】

千葉 4:00⇒南諏訪 IC⇒渋の湯 8:15→黒百合ヒュッテ 10:00 着 10:40 発→中山峠→  
東天狗岳頂上 12:10→天狗の奥庭→黒百合ヒュッテ着 13:30 14:00 発→渋の湯 15:10 着⇒日帰り温泉  
かっぱの湯⇒南諏訪 IC⇒帰葉

【記録】

中央道を走っている時、南アルプス、八ヶ岳の山々が綺麗に見え、今季初の雪山登山にワクワクする。

私が昨年10月に足が不調となり、それ以来今年の2月10日まで、山登りはお休みしていた。2月に4ヶ月ぶりに足慣らしとして、上野原の八重山～能岳に登った。4時間位のハイクであったが、最後、駐車場に着く頃、左足に軽い痛みが起きた。

その為、今回の東天狗岳山行は、私の足が心配で黒百合ヒュッテ泊で、2日をかけて歩こうと計画を立てた。

結果としては、足の状態が悪くならなかったため、黒百合ヒュッテに泊まらず日帰りすることにした。翌日は天候が悪くなる予報だったので、日帰りできて良かった。

渋の湯を8:15出発。コメツガの樹林帯の中、しっかりトレースがついていて、黒百合ヒュッテまでアイゼンを付けず歩けた。歩を進めるに従って、コメツガに雪がついているのが、クリスマスツリーの様で素敵であった。黒百合ヒュッテに着いた時は、泊まる予定だったので宿帳に記入し、リュックの中の不必要なものをヒュッテに預ける準備をし、腹ごしらえをし、トイレを済ませ、アイゼンを付けたら、頂上に向かう出発時間が10:40になってしまった。もう少し早くすべきだった。

中山峠を過ぎたら、冷たい風がとても強く吹いていた。地面の雪が舞い上がって吹雪の様であった。が、空が青く見通しがきいたことは良かった。目出帽をかぶり、凍傷にならないようにする。あまりにも強い風でよろけそうになり、しばし、ピッケルで耐風姿勢をとり、もの凄い強い風が通り過ぎるのを待った時もあった。

頂上着12:10。360度の素晴らしい展望。槍穂高、後立山連峰などの遠くの山は霞がかかっている、はっきりとは見えなかった。南アルプス、北八ヶ岳の他の山々、浅間山等々は、はっきり見え綺麗であった。赤岳、阿弥陀岳のそびえている姿が格好良かった。

あまりにも冷たく強い風が吹いていたので、ちょっとだけ眺望を楽しみ、早々と下山開始をする。

下山は天狗の奥庭の方のコースをとる。黒百合ヒュッテの近く迄戻ると、シリセードの跡があり、夫はシリセードを楽しんでいた。私はその斜面がとても急で怖くてシリセードはしなかった。黒百合ヒュッテ着13:30。

私の足の調子が悪くならなかったため、黒百合ヒュッテに泊まる事をキャンセルし、下山することにした。樹林帯の中を渋の湯に向かって歩いた時は、静かで中山峠から上の強風が信じられなかった。順

調に足が痛くならず歩け、渋の湯着 15:10。ほっとする。

今回の山行を終えて

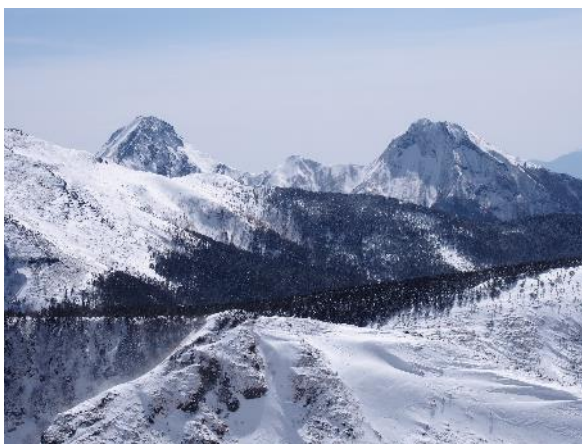
中山峠から上が冷たく強風ではあったが、晴れで、私の足の痛みも起きなくて、往復、休憩を入れて約7時間、雪山のコースを歩けたことがとても嬉しい。一時は、もう山登りは無理かな、ちば山も退会かなと思った時もあったので、本当に嬉しかった。



渋の湯からと八方台からと黒百合平への分岐



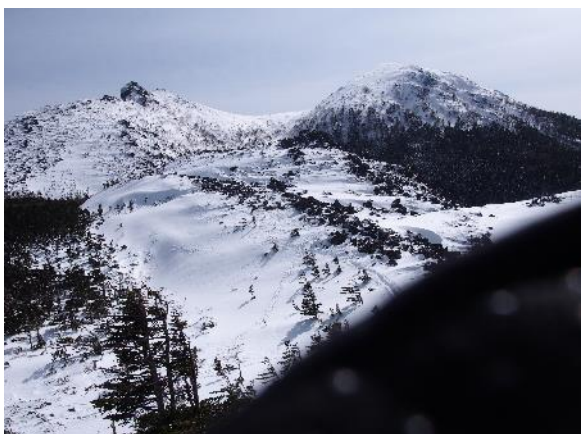
東天狗岳の頂上にて



東天狗岳頂上からの赤岳と阿弥陀岳



東天狗岳頂上からの西天狗岳



スリバチ池近くからの東天狗岳と西天狗岳



頂上からの浅間山（右奥）